

よりよく生きる

1年生道徳授業の紹介「オアシスの老人」（読み物資料）

【資料のあらすじ】

二つの街に挟まれたオアシスに座る老人は、二人の若者に隣の街のことを尋ねられた。そこに一人の若者が来て、「隣の街に行こうと思うが、どんな街か？」と老人に問う。老人が今までいた町はどうだったか聞くと、若者はしかめっ面でとても住みづらい街だったと答えた。老人は、隣の街も住みづらい街だと答えた。しばらくして、同じ町から若者が通りかかり、老人に同じ質問をした。老人も若者に同じ質問をすると、若者は明るい表情で素敵な街だったと答えた。老人は、隣の街も素敵な街だと答えた。



考え方によって、人生が変わることってある？それともない？（生徒の意見）

- ・ポジティブに考えることで、あきらめなくなったりする。逆にネガティブに考えると、うまくいかないことは増えてくると思う。
- ・よくない環境でも、よいところに目を向けることはとても大切。そうすることで、人生はよりよいものになっていく。
- ・人に優しく接するとか、自分の言動に気を付けることで、人生は変わっていく。
- ・仕事でミスをしても、その中でもよいところを見付けることが大切。そうすると、その失敗は次につながり、同じミスをしないようになる。
- ・自分や周りの長所を見付けるには、人への感謝の気持ちを持つことが大切である。

今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書きましょう。

- ・考え方によって、人生は変わること思います。同じような環境でも、どこに目を向けるかによって人生は明るくなったり、暗くなったりすると思います。だから、私はできるだけ物事をポジティブに捉えていきたいです。
- ・物事をプラスに考えることが大事だと思いました。ミスをしたとき、マイナスのことばかり考えるのではなく、次に生かそうとか、よい経験になったなどか、プラスに考えたらよい人生になると思いました。
- ・これから的人生を充実したものにするには、ネガティブに考えるのではなく、ポジティブに考えることが大切だと思います。一番大切なのは、ネガティブに考えないことです。一つの考え方で、人生は大きく変わってくると思います。

自分を見つめるとは、自分自身に深くじっくりと向き合い、過去や未来、未来の自分に思いをはせる行為です。一人ひとりには独自のすばらしさが備わっており、それを他者との関係の中でよりよい方向に伸ばしていくことは、とても大切なことです。こうした自己探求のプロセスにおいて、自分自身のことや自分が置かれた環境、周囲との関係などを前向きに捉えることで、向上心なども芽生えてくるのかもしれません。